

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神戸市公共下水道事業～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	神戸市												
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、震災など非常時にも良好な水環境を保持するための防災・安全対策を実施し、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	40,730	A	40,650	B	50	C	30	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.07	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	① 管渠の改築更新を、平成31年度末までに50km実施する ① 管渠の改築更新実施率 改築更新実施延長 / 対象延長（50km）	0%	%	100%
2	② 雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる ② 対策済雨水整備重点地区 2地区 → 5地区	2地区	地区	5地区
3	③ 地震対策実施（非常時においても揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する）処理場を、平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる ③ 地震対策実施率 対策済処理場 / 対象処理場	1処理場	処理場	2処理場

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、16排水区)) 管きょ施設 (改築更新)	中央処理区 φ200-500mm L =9.2km 他 更生工法	神戸市	■	■	■			1,350	—	策定済		
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、合流区域)) 管きょ施設 (改築更新)	中央処理区 φ200~500mm 他 更生工法	神戸市					■	■	100	—	策定済	
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、16排水区)) 管きょ施設 (地震対策)	中央処理区 φ250-400mm L= 3.7km 他 更生工法	神戸市	■	■	■			2,050	—	策定済		
A07-004	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、合流区域)) 管きょ施設 (地震対策)	中央処理区 φ250~400mm 他 更生工法	神戸市					■	■	900	—	策定済		
A07-005	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠 (—	市内 (16排水区) 管きょ 雨水) 施設 (浸水対策)	中部排水区 □2200×2200mm L=0.4km 他	神戸市	■	■	■			3,050	—	—			
	浸水対策																				

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-006	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠 (合流)	改築	市内 (合流区域) 管きよ 施設 (浸水対策)	東灘排水区 (合流区域)	神戸市			■	■	■	100	—	—
	A07-007	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、16排水区)) 処理場・ポンプ場施設 (改築更新)	西部処理場 改築更新事業 他	神戸市	■	■	■			15,350	—	策定済
	A07-008	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、合流区域)) 処理場・ポンプ場施設 (改築更新)	改築更新事業	神戸市				■	■	10,400	—	策定済
	A07-009	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	市内 (8処理区、16排水区)) 処理場・ポンプ場施設 (地震対策)	耐震診断、補強工事の実施 他	神戸市	■	■	■			250	—	策定済
	A07-010	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	市内 (8処理区、合流区域)) 処理場・ポンプ場施設 (地震対策)	地震時機能停止リスク低減対 策、耐震診断、補強工事の実 施 他	神戸市				■	■	5,300	—	策定済

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-011	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	ポンプ場	改築	市内(16排水区)ポンプ場施設(浸水対策)	魚崎ポンプ場の整備 他	神戸市	■	■	■			1,800	—	—	
		浸水対策																		
											小計						40,650			
											合計						40,650			

B 関連社会資本整備事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	B07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	道路側溝改修事業	φ300mm L=0.8km 他	神戸市	■	■	■			50	—	—
		浸水対策																	
											小計						50		
											合計						50		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠（	－	排水設備改善助成	排水設備の老朽化対策として、改善工事を助成	神戸市	■	■	■			30	－	－
		本計画の目標実現をするため、上記基幹事業と一体となって排水設備の改善を行うことで、分流式システムの改良が図れ下水道施設の機能向上ができる。																	
											小計						30		
											合計						30		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 令和3年度 神戸市建設事業外部評価委員会	事後評価の実施時期 令和3年度	
	公表の方法 神戸市ホームページに記載	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・改築更新基本計画に基づき、管渠のライフサイクルコストの低減を図りながら改築更新を実施することができた。 ・雨水管渠等を整備することで、浸水に強い安全なまちづくりを進める事ができた。 ・処理場の耐震化を進めることで、想定最大規模の地震（1995年兵庫県南部地震）発生時でも機能停止するリスクを低減できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠の改築更新として管更生工事等を実施することで管渠の耐震化を図ることができた。 ・改築更新基本計画に基づき、改築更新を行うことで事業費の平準化につながった。

○特記事項（今後の方針等）

・気候変動等の影響により新たな地区で浸水被害が発生していることから、雨水浸水対策基本方針を策定のうえ対策を実施し、浸水に強い安全なまちづくりを進める。

※三宮南地区および長田南部地区はR3年度完了予定

・ライフサイクルコストの低減を図りながら管渠や処理場・ポンプ場の計画的な改築更新を実施し、下水道施設の機能を適切に保全していく。
 ・処理場やポンプ場において耐震化の実施を進める。
 ・令和3年度に耐水化計画を策定し、洪水等による処理場・ポンプ場の浸水被害の低減を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	管渠の改築更新を、平成31年度末までに50 k m実施する。管渠の改築更新実施率：改築更新実施延長／対象延長（50km）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。	
	最終目標値	5地区
	最終実績値	3地区
3	地震対策実施処理場（非常時においても揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する）を、平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる。	
	最終目標値	2処理場
	最終実績値	2処理場

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神戸市公共下水道事業 ～浸水に強い安全なまちづくり～ (防災・安全) (重点計画)												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神戸市												
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、震災などの非常時にも良好な水環境を保持するための雨水対策を実施し、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	4,500	A	4,360	B	90	C	50	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.11	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	① 雨水整備重点地区 (全9地区) の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。 ① 対策済雨水整備重点地区 : 2地区 → 5地区	2地区	地区	5地区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	市内(16排水区)ポンプ場施設・管きよ施設(浸水対策)	雨水ポンプ場、雨水管きよの整備	神戸市	■	■				3,500	—	—		
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	市内(16排水区)ポンプ場施設・管きよ施設(地震対策)	雨水ポンプ場、雨水管きよの整備	神戸市	■	■				350	—	策定済		
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	市内(16排水区)ポンプ場施設・管きよ施設(改築更新)	雨水ポンプ場、雨水管きよの整備	神戸市	■	■				510	—	策定済		
											小計						4,360				
											合計						4,360				

B 関連社会資本整備事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	B07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	—	改築	道路側溝改修事業	φ300mm L=0.8km 他	神戸市	■	■				90	—	—
		浸水対策																	
											小計						90		
											合計						90		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	神戸市	直接	—	—	—	市内（16排水区）ポンプ 場施設・管きょ施設（浸 水対策）	小規模雨水ポンプ施設、雨水 管きょの緊急整備 他	神戸市	■	■				50	—	—
		基幹事業（A-1）と一体的に整備することで、市内の浸水被害の早期軽減を図る																	
											小計						50		
											合計						50		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

令和3年度 神戸市建設事業外部評価委員会

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

神戸市ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・雨水管渠等を整備することで、浸水に強い安全なまちづくりを進める事ができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・気候変動等の影響により新たな地区で浸水被害が発生していることから、雨水浸水対策基本方針を策定のうえ対策を実施し、浸水に強い安全なまちづくりを進める。
※三宮南地区および長田南部地区はR3年度完了予定

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	5地区
	最終実績値	3地区
		雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。
		雨水管渠の整備にあたり、旧護岸の撤去や地下埋設物の移設等の調整に時間を要したため。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金
防災・安全交付金（重点計画）

神戸市建設事業外部評価委員会説明資料

担当：建設局下水道部計画課

神戸の下水道

現況（R2末）

- ・汚水管 約4,100 km
- ・雨水管 約 660 km
- ・人口普及率 98.7 %
- ・処理区域 17,000 ha
- ・人口 約152 万人

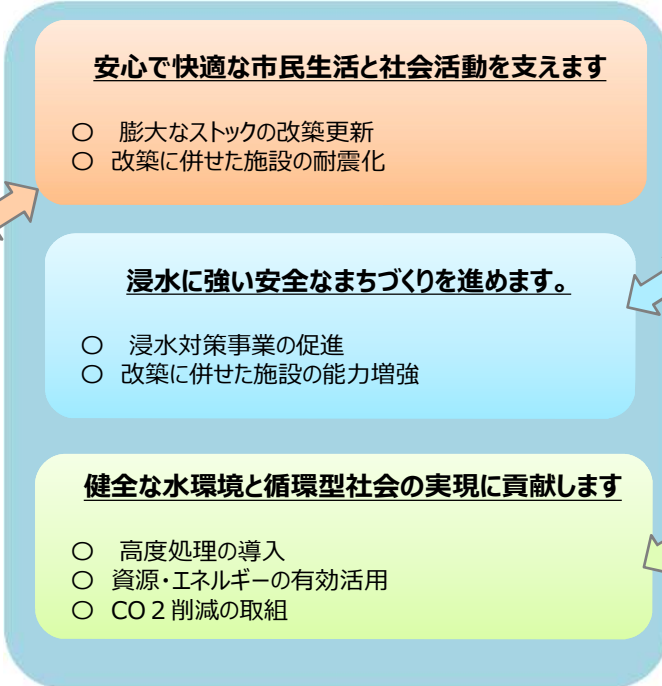
主な施設

- ・処理場 6ヶ所
- ・汚泥焼却施設 1ヶ所
- ・ポンプ場 25ヶ所

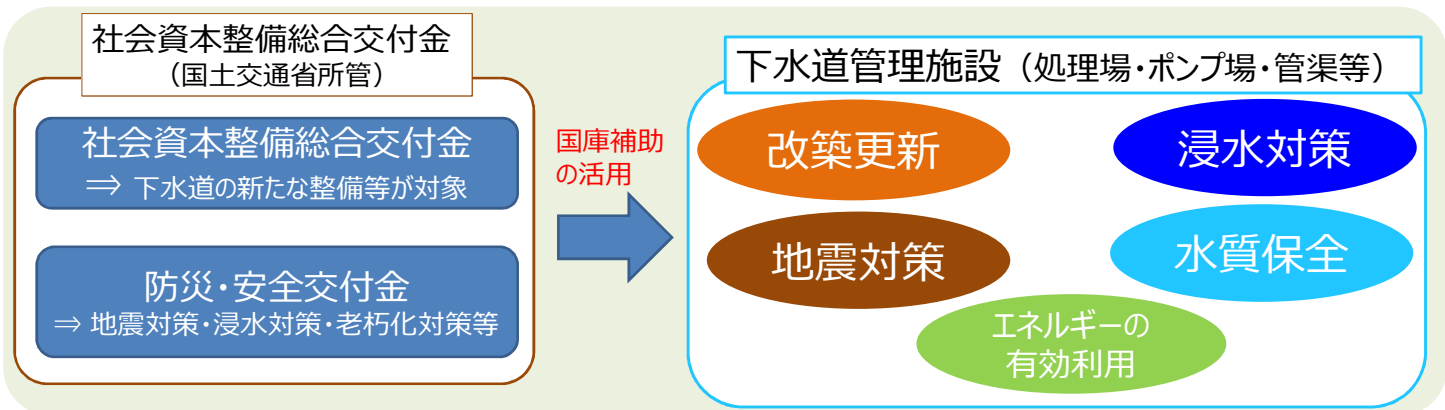


中期経営計画 (アクアプラン2020)

「こうベアクアプラン2020」
 ～「輝ける未来創造都市の実現」を支える下水道～



社会資本整備総合交付金について



○ 社会資本整備総合交付金の概要

- ・ 地方公共団体は政策課題を自ら抽出し、**定量的な指標**による目標を設定した、**概ね3～5年**程度の『**社会資本整備総合計画**』を作成。
- ・ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業へ国費を充当。
- ・ 地方公共団体が自ら**整備計画の事後評価**を実施し、HP等により公表を行う。

(1) 神戸市公共下水道事業における社会資本総合整備計画

神戸市下水道事業の整備計画（3計画）

- ①「神戸市公共下水道事業～ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして～」
交付金・・・社会資本整備総合交付金

→ 下水道の新たな整備，資源エネルギー利用 等

- ②「神戸市公共下水道事業 ～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）」
交付金・・・防災・安全交付金
- ③「神戸市公共下水道事業 ～浸水に強い安全なまちづくり～（防災・安全）（重点計画）」
交付金・・・防災・安全交付金（重点） ※H30年度に創設（浸水被害の増加により）

防災・減災、安全を実現するメニューに特化して集中的に支援

→ 地震対策、浸水対策、老朽化対策が主な対象

5

(2) 下水道事業における整備計画の位置づけ

神戸市下水道事業中期経営計画（アクアプラン2020）
計画期間（2016～2020）

市の経営面も考慮しながら5年間の社会資本整備を推進するための計画

社会資本整備総合計画（本計画）

アクアプランのうち国庫補助対象事業を社会資本整備総合計画に位置付けている。

国庫補助対象

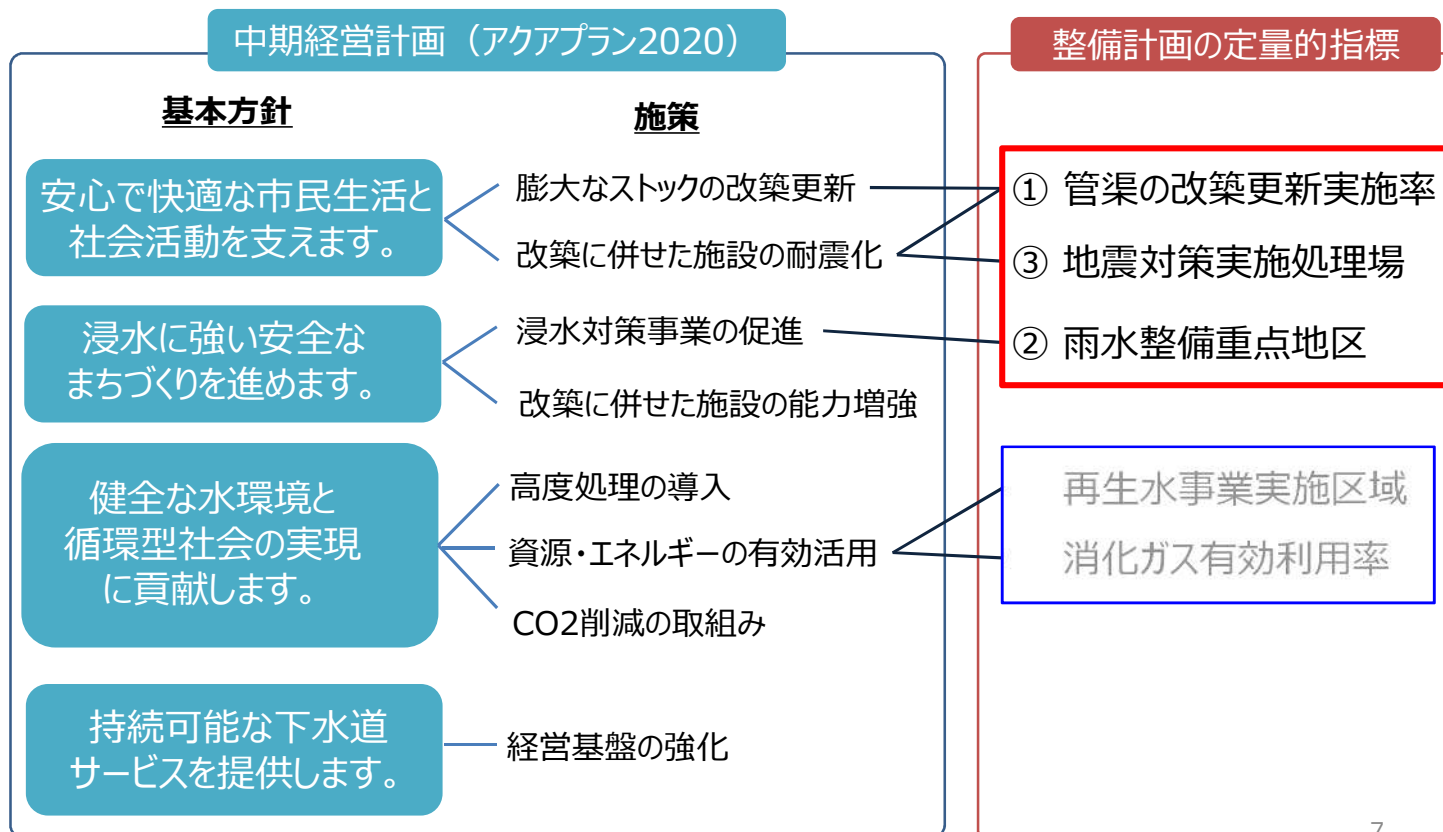
アクアプラン2020の目標

合致

社会資本整備総合計画の目標
(定量的指標)

6

(3) 中期経営計画（アクアプラン2020）と定量的指標の関係性



7

社会資本整備総合計画の内容

○ 計画の名称

「神戸市公共下水道事業 ～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）」

○ 計画の期間

平成27年度～平成31年度（5年間）

○ 交付対象

神戸市

○ 計画の目標

安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、**震災などの非常時にも良
好な水環境を保持するための防災・安全対策を実施し、魅力ある神戸のまちの創造
に貢献する。**

8

社会資本整備総合計画の内容

○ 計画の名称

「神戸市公共下水道事業 ～**浸水に強い安全なまちづくり**～（防災・安全）
（重点計画）」

○ 計画の期間

平成30年度～平成31年度（2年間）

○ 交付対象

神戸市

○ 計画の目標

安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、**震災などの非常時にも良好な水環境を保持するための雨水対策を実施**し、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。

9

計画の成果目標（定量的指標）・・・防災・安全 ①～③ 防災・安全（重点）②

① 管渠の改築更新を、平成31年度末までに50km実施する。

計画の指標：改築更新実施延長／対象延長（50km）

0%（H27当初） → **100%（H31末）**
（50km以上）

② 雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。

計画の指標：対策済雨水整備重点地区 2地区 → 5地区

2地区（H27当初） → **5地区以上（H31末）**

③ 地震対策実施（揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する）処理場を平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる。

計画の指標：地震対策実施処理場（1処理場→2処理場）

1処理場（H27当初） → **2処理場以上（H31末）**

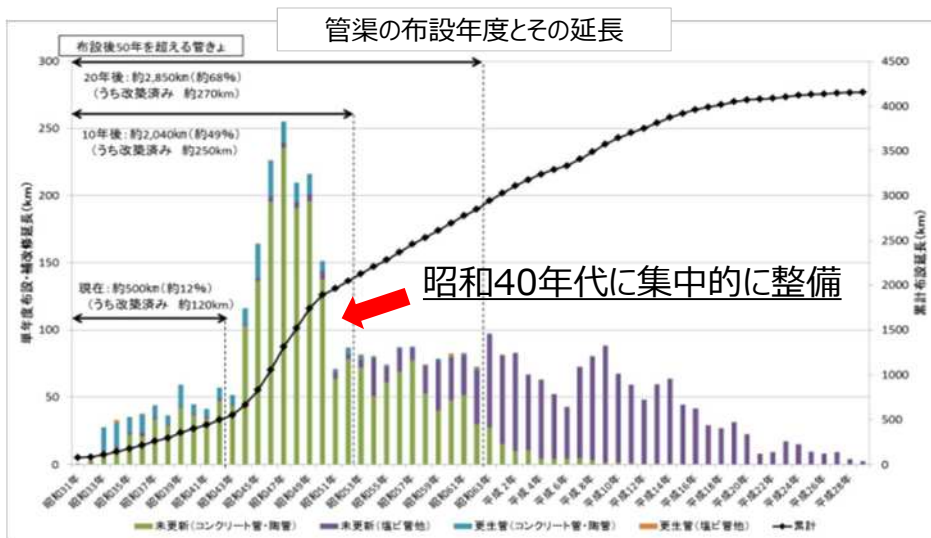
10

実施事業

(定量的指標：管渠の改築更新を、平成31年度末までに50km実施する。)

(1) 管渠の改築更新

- ・ 昭和40年代に集中的に整備してきた施設の老朽化が、近年進行
- ・ 老朽化施設を放置すると、管渠の閉塞、道路陥没などの要因となる



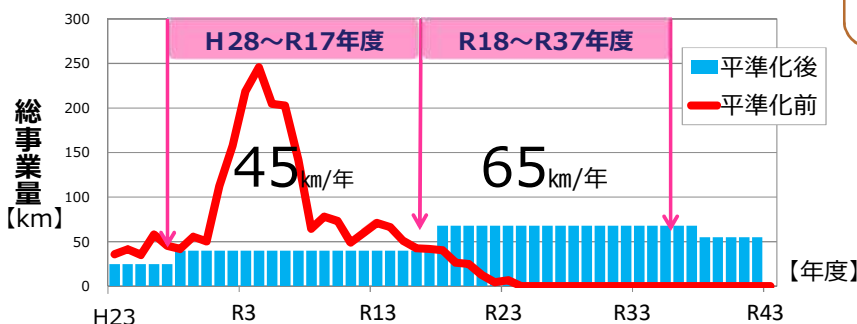
汚水管渠の老朽化

実施事業

(定量的指標：管渠の改築更新を、平成31年度末までに50km実施する。)

改築更新基本計画

- ・ 標準耐用年数の50年ではなく、使用限界80年を迎えるまでに改築更新を行う。
- ・ 昭和40年代に集中的に布設した管渠の改築更新を前倒し、後ろ倒しすることで改築事業費の平準化を図る。



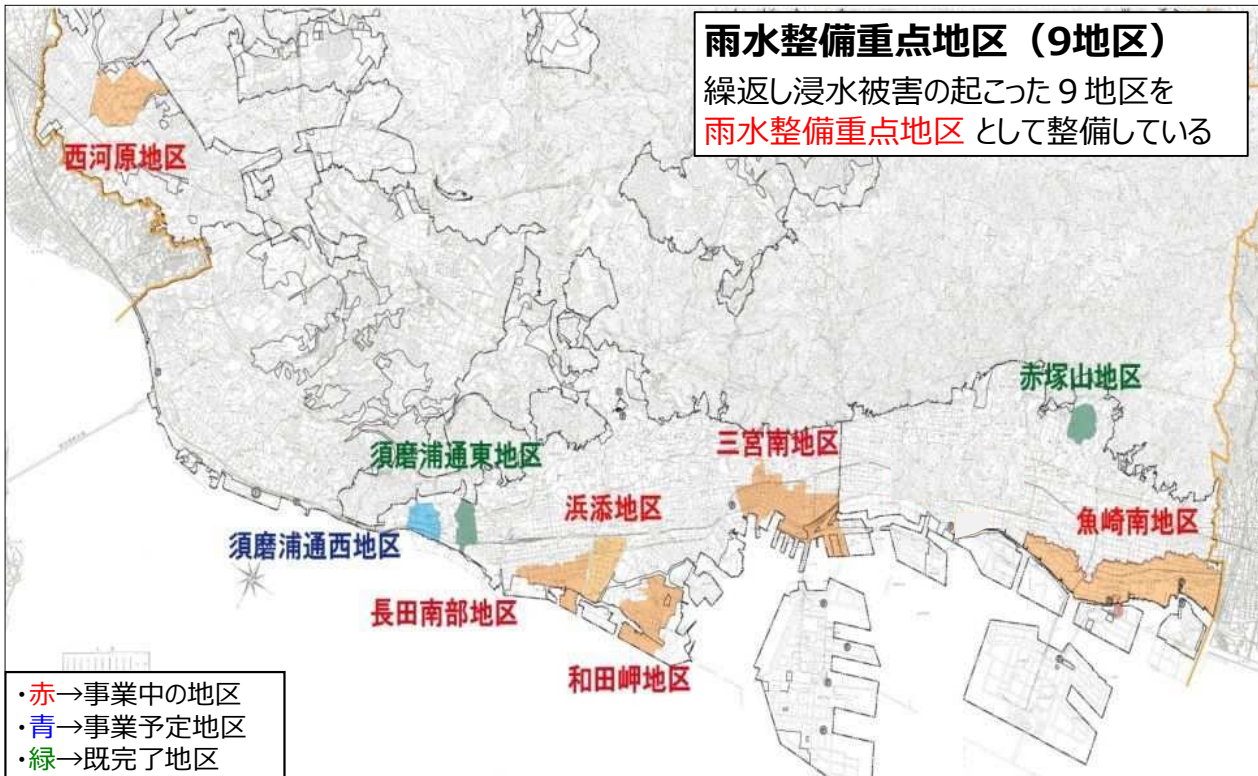
管渠の改築更新工事の実施



実施事業

(定量的指標：雨水整備重点地区(全9地区)の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。)

(2) 浸水対策事業について



三宮南地区浸水対策事業

平成16年度の台風による浸水被害を契機に、雨水ポンプ場及び雨水管渠の整備を進めている



台風による浸水状況
(国道2号線)



実施事業

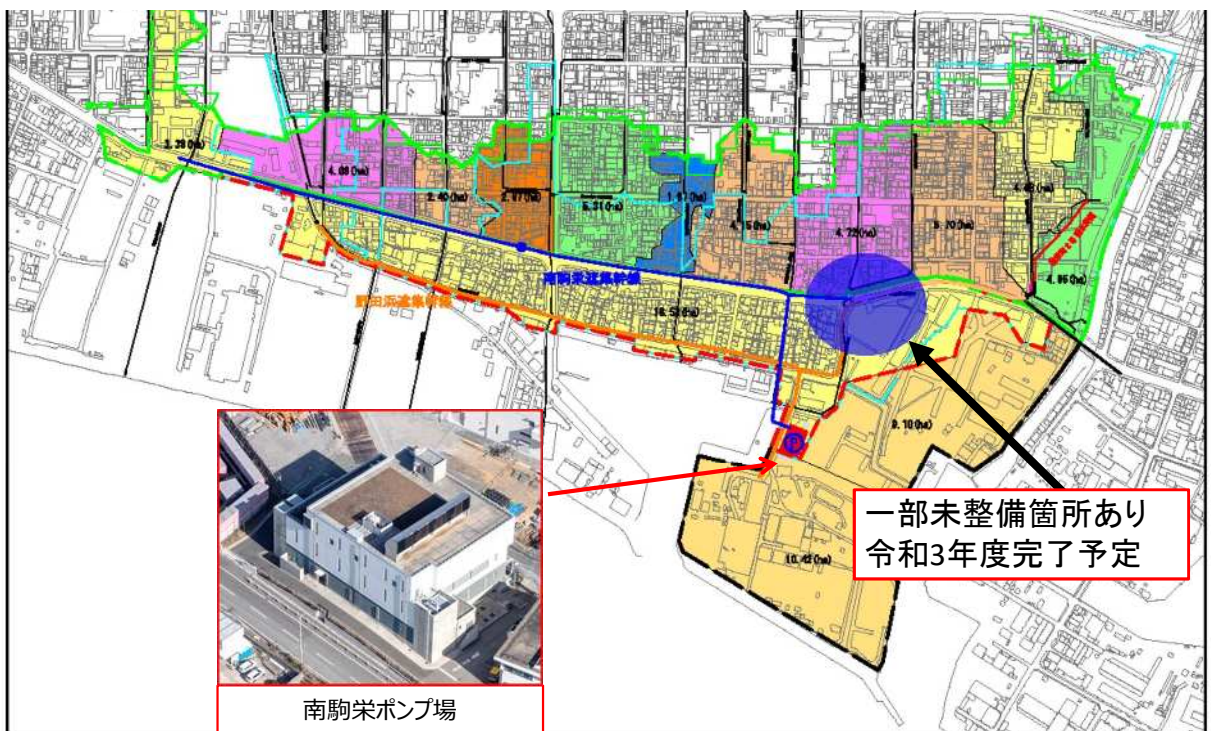
(定量的指標：雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる。)

長田南部地区浸水対策事業



長田南部地区浸水対策事業

長田港に面した低地盤地区で、高潮による海水の逆流や内水の溢水による浸水が度々発生しているため、雨水ポンプ場及び雨水管渠の整備を進めている



和田岬地区浸水対策事業



和田岬地区浸水対策事業

和田岬ポンプ場の改築に併せ、浸水被害のあった遠矢浜地区を含めて、雨水ポンプ場及び雨水管渠の整備を進めた

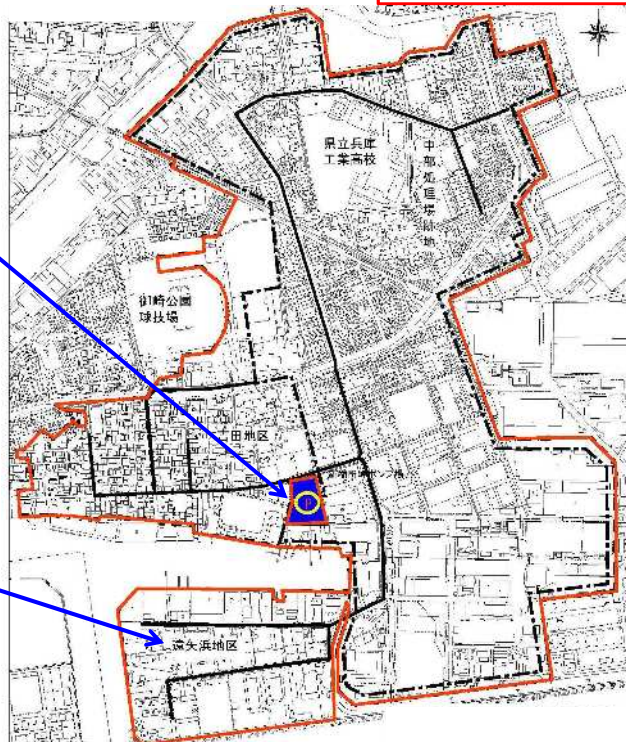
平成29年度完了



新和田岬ポンプ場



台風による浸水状況
(遠矢浜地区)

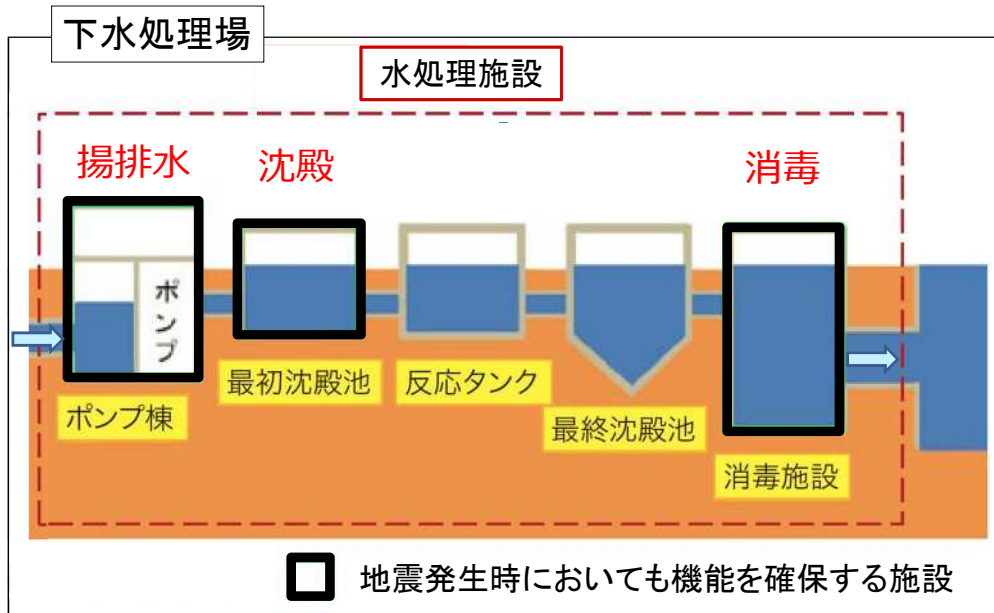


実施事業

(定量的指標：地震対策実施処理場を平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる。)

(3) 処理場の耐震化

想定最大規模の地震発生時においても
揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する。



実施事業

(定量的指標：地震対策実施処理場を平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる。)

(3) 処理場の耐震化

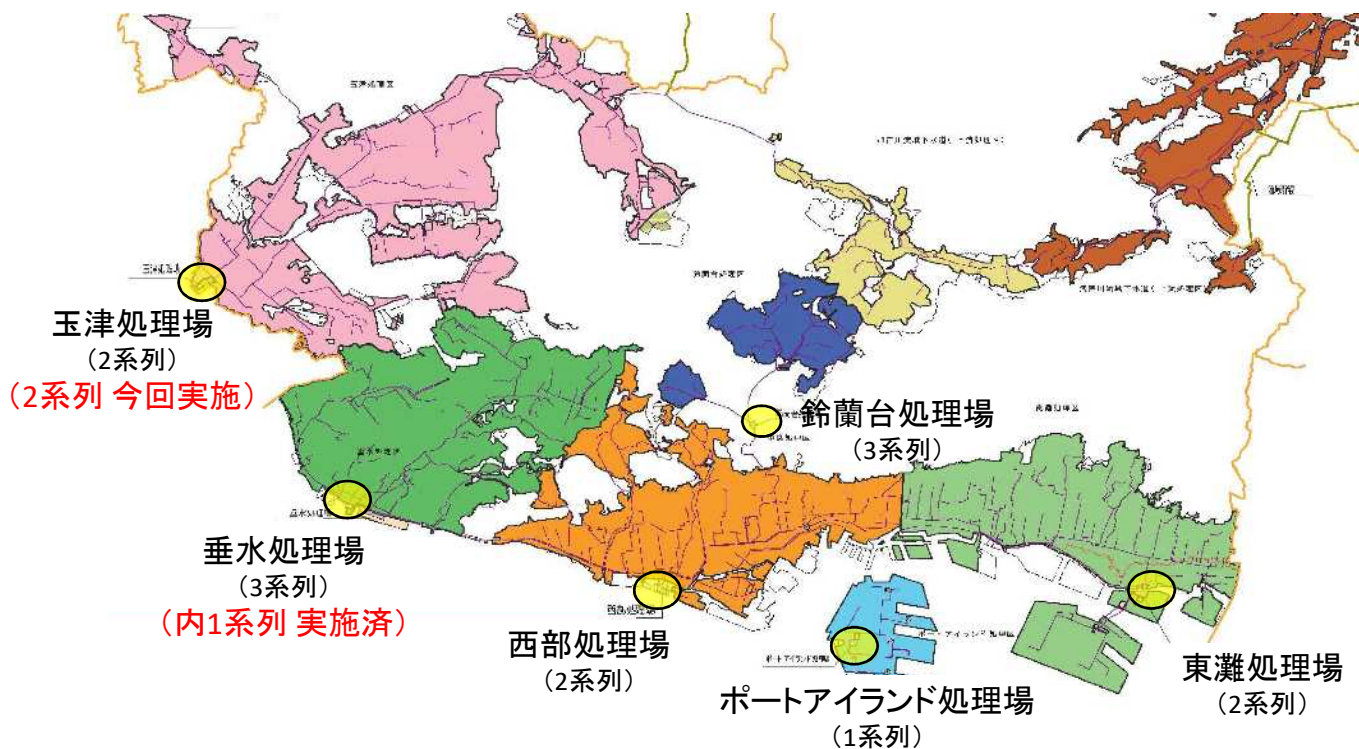
最低限の処理機能として揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する



実施事業

(定量的指標：地震対策実施処理場を平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる。)

想定最大規模の地震を対象として非常時においても揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する。



3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- 改築更新基本計画に基づき、**管渠のライフサイクルコストの低減**を図りながら改築更新を実施することができた。
- 雨水管渠等を整備することで、**浸水に強い安全なまちづくり**を進める事ができた。
- 処理場の耐震化を進めることで、想定最大規模の地震（1995年兵庫県南部地震）発生時でも**機能停止するリスクを低減**できた。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

① 管渠の改築更新実施率

改築更新基本計画に基づき改築更新を189km実施し、目標値(50 km)を達成することができた。

指標	当初現況値 (H27当初)	最終目標値 (H31末)	整備実施後
管渠の改築更新実施率 (対象：50km)	0%	100%	100%

23

Ⅱ 定量的指標の達成状況

② 対策済雨水整備重点地区

雨水整備重点地区において、ポンプ場に流入する雨水管渠の整備を進めたが、5地区の目標に対して3地区の完了のみとなった。

<未達成理由>

- ・地下埋設物の移設に、各管理者との協議・調整に時間を要した。
- ・地元、道路管理者、所管警察等との調整に時間を要した。
- ・三宮南地区の雨水管渠の築造にあたり旧護岸の撤去等に時間を要した。

指標	当初現況値 (H27当初)	最終目標値 (H31末)	最終実績値
対策済雨水整備重点地区	2地区	5地区	3地区

24

Ⅱ 定量的指標の達成状況

【参考】主な浸水対策事業の進捗状況（R2年度末時点）

事業	進捗状況	
	事業進捗率	完了年度
① 三宮南地区浸水対策事業	93.8%	R 3年度(予定)
② 長田南部地区浸水対策事業	81.3%	R 3年度(予定)
③ 和田岬地区浸水対策事業	100 %	H 2 9年度

※事業進捗率は浸水対策面積ベース

- ・ 三宮南地区では、H16年の台風で国道2号が冠水し、通行止めが生じたが、浸水対策が進んだことにより、H30年の台風21号では本地区で国道2号が冠水することは無かった。

25

Ⅱ 定量的指標の達成状況

③地震対策実施率

玉津処理場において地震対策（揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する）を実施し、地震対策済み処理場を1処理場から2処理場とすることができた。

指標	当初現況値 (H27当初)	最終目標値 (H31末)	最終実績値
地震対策実施処理場	1処理場 (垂水)	2処理場	2処理場 (垂水、玉津)

26

Ⅲ 定量的指標以外の効果の発現状況

- ・管渠の改築更新として管更生工事等を実施することで管渠の耐震化を図ることができた。
- ・改築更新基本計画に基づき、改築更新を行うことで事業費の平準化につながった。

27

4. 特記事項（今後の方針等）

- ・気候変動等の影響により新たな地区で浸水被害が発生していることから、雨水浸水対策基本方針を策定のうえ対策を実施し、浸水に強い安全なまちづくりを進める。
※三宮南地区および長田南部地区はR3年度完了予定
- ・ライフサイクルコストの低減を図りながら管渠や処理場・ポンプ場の計画的な改築更新を実施し、下水道施設の機能を適切に保全していく。
- ・処理場やポンプ場において耐震化の実施を進める。
- ・令和3年度に耐水化計画を策定し、洪水等による処理場・ポンプ場の浸水被害の低減を図る。

28